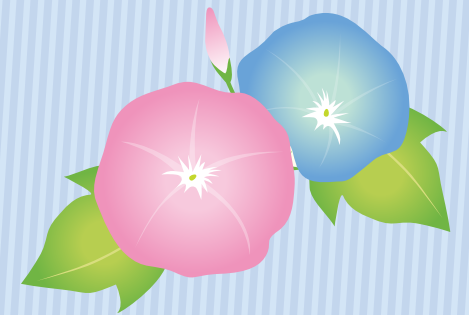




オンライン授業用

手紙の書き方

夏のお便りの書き方



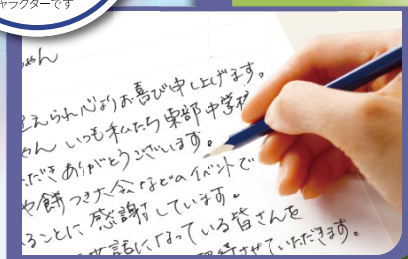
マークは書きましょう



マークは読みましょう

2022年度 中学生用

手紙の書き方



目次

1. 行事や季節に合わせたいろいろなお便り… P2～5
2. 手紙を書いてみよう
 - ①封筒のあて名の書き方 …… P6～7
 - ②頭語と結語 …… P8
 - ③時候のあいさつ …… P9
 - ④お礼状の書き方を知ろう …… P10～11
 - ⑤お礼状を書いてみよう …… P12～13
 - ⑥上級学校講演会の「お礼状」の書き方 …… P14～15
3. はがきを書いてみよう
 - ①はがきのあて名の書き方(表面) …… P16
 - ②基本的なはがきの文章の書き方(裏面) …… P17
 - ③夏のお便り(暑中見舞い・残暑見舞い)の書き方… P18～19
 - ④年賀状の書き方 …… P20～21
 - ⑤往復はがきの書き方 …… P22
4. 郵便番号について知ろう …… P23
5. はがき・切手 …… 裏表紙

自宅の郵便番号

自宅の住所 都道府県

年 組 番 名前

郵便番号の検索はコチラから

郵便番号 検索

スマートフォン・携帯はコチラから



夏



暑中見舞い

(暑中見舞い、残暑見舞いの書き方はP18・19に詳しく掲載)
暑い夏を乗り切れるような、元気になるお便りを書きましょう。

残暑見舞い

残暑見舞いは、8月末頃までに届くように出しましょう。



③夏のお便り(暑中見舞い・残暑見舞い)の書き方

2022年度 中学生用

手紙の書き方

ぼすくま
※ぼすくまは日本郵便のキャラクターです

郵便 POST

目次

1. 行事や季節に合わせたいろいろなお便り… P2～5	3. はがきを書いてみよう
2. 手紙を書いてみよう	①はがきのあて名の書き方(裏面)…… P16
①封筒のあて名の書き方…… P6～7	②基本的なはがきの文章の書き方(表)…… P17
②頭語と結語…… P8	③夏のお便り(暑中見舞い・残暑見舞い)の書き方… P18～19
③時候のあいさつ…… P9	④年賀状の書き方…… P20～21
④お礼状の書き方を知ろう…… P10～11	⑤往復はがきの書き方…… P22
⑤お礼状を書いてみよう…… P12～13	4. 郵便番号について知ろう…… P23
⑥上級学校講演会の「お礼状」の書き方…… P14～15	5. はがき・切手…… 裏表紙

自宅の郵便番号 □□□□□□ □□□□□□

郵便番号の検索はコチラから

郵便番号 検索

スマートフォン・携帯はコチラから

自宅の住所 都道府県

年 組 番 名前

P18 ~ P19

③夏のお便り(暑中見舞い・残暑見舞い)の書き方

■暑中見舞いとは？
明治時代に始まり、大正時代になって定着したお便りです。
もともと(江戸時代)は、「暑中」(大暑から立秋まで)の間かともいいますが、「暑中見舞い」として、夏負けを防ぐ「食べ物」を、お世話になった方へお土産に持って行ったのが始まりと言われています。
今年の場合は小暑(7月7日)から立秋の前日(8月6日)までに届くように出す夏のあいさつのお便りを「暑中見舞い」と言います。(7月23日の大暑から出すという説もあります。)
※日付は毎年同じとは限りません。その年のカレンダーなどで確認しましょう。

■残暑見舞いとは？
立秋(8月7日)を過ぎてから暑さが残る頃に送るあいさつのお便りです。
「残暑お見舞い申し上げます」と書きます。8月中旬に届くように送ります。

①前文(書き出し)

★暑さを見舞うあいさつ
・暑中お見舞い申し上げます
・残暑お見舞い申し上げます
※前文あいさつには句点(。)は不要です。
★相手の安否を尋ねる
・いかがお過ごしですか。
・お変わりなくお過ごしのことと思います。

②本文(本文)

★この夏の体験・近況
★相手に伝えたい出来事
・毎日の生活の練習で汗を流しています。
・受験生なので、勉強に励んでいます。

③本文(結び)

★暑い季節だからこそ
相手の健康を願う言葉
★今後のこと
・暑い日が続きますが、ご自愛ください。
・お体を大切にしてください。

④後付け

★日付
・暑中見舞いの時は「盛夏」
・残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」
★自分の名前

暑中お見舞い申し上げます
原田先生
夏休みはいいお過ごしでしょうか。
僕は毎日テニスの活動に参加し、真黒に日焼けしました。
先日の大会では、今まで全敗だった相手に初めて勝つことができました。とても嬉しかったです。秋の新人戦に向けて、更に努力していきます。
暑苦しい熱帯夜がしばらく続くようです。
くれぐれもお自愛ください。
令和四年七月 盛夏
丸山直人

残暑お見舞い申し上げます
秋はまた遠く、とても暑い季節が続いています。
皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。いよいよ夏休みです。
私は、今度の夏は、家族で山に遊びに行きました。
そこでは、自然を満喫することができ、とても楽しかったです。
今度の秋は、いよいよ受験生としての生活が始まります。
勉強に励みますので、お体大切にしてください。
令和四年八月 盛夏
木暮

はがきの裏面です
左右の端には少し余白を空けて書きます。

■暑中見舞いとは？

明治時代に始まり、大正時代になって定着したお便りです。

もともと(江戸時代)は、「暑中」(大暑から立秋まで)の間がとても暑いので、「暑中見舞い」として、夏負けを防ぐ「食べ物」を、お世話になった方へお土産に持って行ったのが始まりと言われています。

今年の場合は小暑(7月7日)から立秋の前日(8月6日)までに届くように出す夏のあいさつのお便りを「暑中見舞い」と言います。(7月23日の大暑から出すという説もあります。)

※日付は毎年同じとは限りません。その年のカレンダーなどで確認しましょう。



赤い線の部分を読みましょう。

**小暑 (7月7日) から
立秋の前日 (8月6日) までに
届くように出す。**

■「残暑見舞い」とは？

立秋(8月7日)を過ぎてから暑さが残る頃に送るあいさつのお便りです。

「残暑お見舞い申し上げます」と書きます。8月中旬に届くように送りましょう。



**立秋（8月7日）過ぎて
8月中旬に届くように送る。**

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方

残暑お見舞い申し上げます

秋はまだ遠く、とても厳しい残暑が続いています。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

私は、今年の夏は、家族で長野の上高地に行きました。そこでは、穂高連峰や槍ヶ岳など、有名な山々を見ながら、美しい自然を満喫することができました。

今度、信州の美味しいりんごジャムのお土産を持っています。これから夏の疲れが出る時期です。お身体に気をつけて、どうぞお元気でお過ごしください。

令和四年八月 晩夏

未希

暑中お見舞い申し上げます

原田先生

夏休みはいかがお過ごしでしょうか。

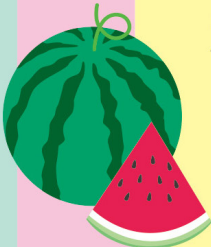
僕は毎日テニス部の活動に参加し、真っ黒に日焼けしました。先日の大会では、今まで全敗だった相手に初めて勝つことができました。とても嬉しかったです。秋の新人戦に向けて、更に努力していきます。

寝苦しい熱帯夜がしばらく続くようです。

くれぐれもお自愛ください。

令和四年七月 盛夏

丸山直人



③ 末文（結び）

- ★暑い季節だからこそ相手の健康を願う言葉
- ★今後のこと
 - ・暑い日が続きますが、ご自愛ください。
 - ・お体を大切になさってください。

④ 後付け

- ★日付
 - ・暑中見舞いの時は「盛夏」
 - ・残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」
- ★自分の名前

① 前文（書き出し）

- ★暑さを見舞うあいさつ
 - ・暑中お見舞い申し上げます
 - ・残暑お見舞い申し上げます
 - ※前文あいさつには句点(。)は不要です。
- ★相手の安否を尋ねる
 - ・いかがお過ごしですか。
 - ・お変わりなくお過ごしのことと思います。

② 主文（本文）

- ★この夏の体験、近況
- ★相手に伝えたい出来事
 - ・毎日部活の陸上の練習で汗を流しています。
 - ・受験生なので、勉強にいそむ毎日です。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ①

4

3

2

1

暑中お見舞い申し上げます

原田先生

夏休みはいかがお過ごしでしょうか。

僕は毎日テニス部の活動に参加し、真黒に日焼けしました。先日の大会では、今まで全敗だった相手に初めて勝つことができました。とても嬉しかったです。秋の新人戦に向けて、更に努力していきます。

寝苦しい熱帯夜がしばらく続くようです。くれぐれもご自愛ください。

令和四年七月 盛夏

丸山直人



①前文（書き出し）

★暑さを見舞うあいさつ

- ・暑中お見舞い申し上げます
- ・残暑お見舞い申し上げます

※前文あいさつには句点(。)は不要です。

★相手の安否を尋ねる

- ・いかがお過ごしですか。
- ・お変わりなくお過ごしのことと思います。

「暑中（残暑）お見舞い申し上げます」
句点「。」は不要

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ①

4

3

2

1

暑中お見舞い申し上げます

原田先生

夏休みはいかがお過ごしでしょうか。

僕は毎日テニス部の活動に参加し、真黒に日焼けしました。先日の大会では、今まで全敗だった相手に初めて勝つことができました。とても嬉しかったです。秋の新人戦に向けて、更に努力していきます。

寝苦しい熱帯夜がしばらく続くようです。くれぐれもご自愛ください。

令和四年七月 盛夏

丸山直人



①前文（書き出し）

★暑さを見舞うあいさつ

- ・暑中お見舞い申し上げます
- ・残暑お見舞い申し上げます
- ※前文あいさつには句点(.)は不要です。

★相手の安否を尋ねる

- ・いかがお過ごしですか。
- ・お変わりなくお過ごしのことと思います。



例を読みましょう。

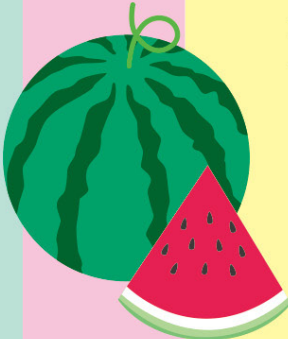
暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ②

④
③
②
①

令和四年七月 盛夏

丸山直人

くれぐれもご自愛ください。



更に努力していきます。

先日の大会では、今まで全敗だった相手に初めて勝つことができました。とても嬉しかったです。秋の新人戦に向けて、

夏休みはいかがお過ごしでしょうか。

原田先生

暑中お見舞い申し上げます

②主文(本文)

★この夏の体験、近況

★相手に伝えたい出来事

- ・毎日部活の陸上の練習で汗を流しています。
- ・受験生なので、勉強にいそしむ毎日です。



例を読みましょう。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ③

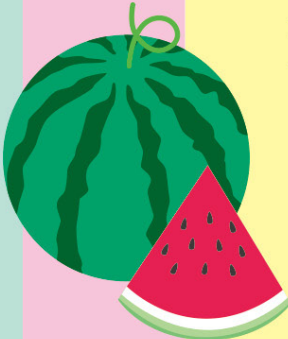
④
③
②
①

令和四年七月 盛夏
丸山直人

寝苦しい熱帯夜がしばらく続くようです。
くれぐれもご自愛ください。

更に努力していきます。
とても嬉しかったです。秋の新人戦に向けて、
先日の大会では、今まで全敗だった相手に初めて勝つことが
できました。僕らは毎日テニス部の活動に参加し、真黒に日焼けしました。

暑中お見舞い申し上げます
原田先生
夏休みはいかがお過ごしでしょうか。



③ 末文（結び）

- ★暑い季節だからこそその
相手の健康を願う言葉
- ★今後のこと

- ・暑い日が続きますが、ご自愛ください。
- ・お体を大切になさってください。



例を読みましょう。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ④

本文や末文より
少し下げて書く。

④ 後付け

★ 日付

- ・暑中見舞いの時は「盛夏」
- ・残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」

★ 自分の名前

暑中見舞いー盛夏
残暑見舞いー晩夏・立秋

④
③
②
①

令和四年七月
盛夏
丸山直人

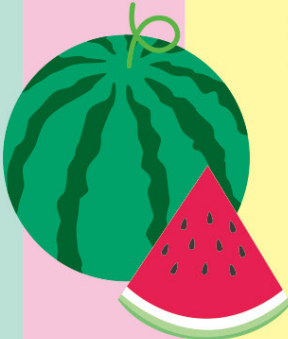
暑中お見舞い申し上げます

原田先生

夏休みはいかがお過ごしでしょうか。

僕は毎日テニス部の活動に参加し、真黒に日焼けしました。先日の大会では、今まで全敗だった相手に初めて勝つことができました。とても嬉しかったです。秋の新人戦に向けて、更に努力していきます。

寝苦しい熱帯夜がしばらく続くようです。くれぐれもご自愛ください。



残暑見舞いー晩夏・立秋



うすい字を
なぞって
みよう。



うすい字をなぞりましょう。



全文読みましょう。

残暑お見舞い申し上げます

秋はまだ遠く、とても厳しい残暑が続いています。

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

私は、今年の夏は、家族で長野の上高地に行きました。

そこでは、穂高連峰や槍ヶ岳など、有名な山々を見ながら、美しい自然を満喫することができました。

今度、信州の美味しいりんごジャムのお土産を持っていきます。

これから夏の疲れが出る時期です。お身体に気をつけて、どうぞお元気でお過ごしください。

令和四年八月

晩夏

未希

実際に暑中・残暑見舞いを書く練習をしましょう。



あて先と伝えたい事をメモしましょう。

設問

「あて先」「伝えたいこと」を
メモ書きした後、実際のはがきと
同じ大きさの場所に書いてみましょう。

あて先(誰に書きますか?)

伝えたいこと(この夏の出来事や近況などを箇条書きしてみましょう。)

ヒント

実際に
書いてみよう。



前文(書き出し)の
「暑中お見舞い申し上げます」は
★やや大きめに書きます。
★句点(.)は不要です。
空いているところに文章に合う絵を
描いてもいいですね。
(→P2の見本を参照)



メモ書きした後、実際の郵便
はがきと同じ大きさに書く
練習をしましょう。

4	3	2	1
後付け	末文	主文	前文
実際の郵便はがきと同じ大きさです。(気持ちを込めていねいに書きましょう。) はがきの裏面です 左右の端には少し余白を空けて書きます。			

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ①

4 後付け 3 末文 2 主文 1 前文

はがきの裏面です
左右の端には少し余白を空けて書きます。

実際の郵便はがきと同じ大きさです。(気持ちを込めていねいに書きましょう。)

① 前文（書き出し）を書きましょう。

ヒント

実際に書いてみよう。



前文（書き出し）の

「暑中お見舞い申し上げます」は

★やや大きめに書きます。

★句点(.)は不要です。

空いているところに文章に合う絵を描いてもいいですね。

(→P2の見本を参照)

① 前文（書き出し）

★暑さを見舞うあいさつ

・暑中お見舞い申し上げます

・残暑お見舞い申し上げます

※前文あいさつには句点(.)は不要です。

★相手の安否を尋ねる

・いかがお過ごしですか。

・お変わりなくお過ごしのことと思います。

「暑中お見舞い申し上げます」
「残暑お見舞い申し上げます」
やや大きめに書く。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ②

④ 後付け ③ 末文 ② 主文 ① 前文

はがきの裏面です
左右の端には少し余白を空けて書きます。

実際の郵便はがきと同じ大きさです。(気持ちを込めてていねいに書きましょう。)

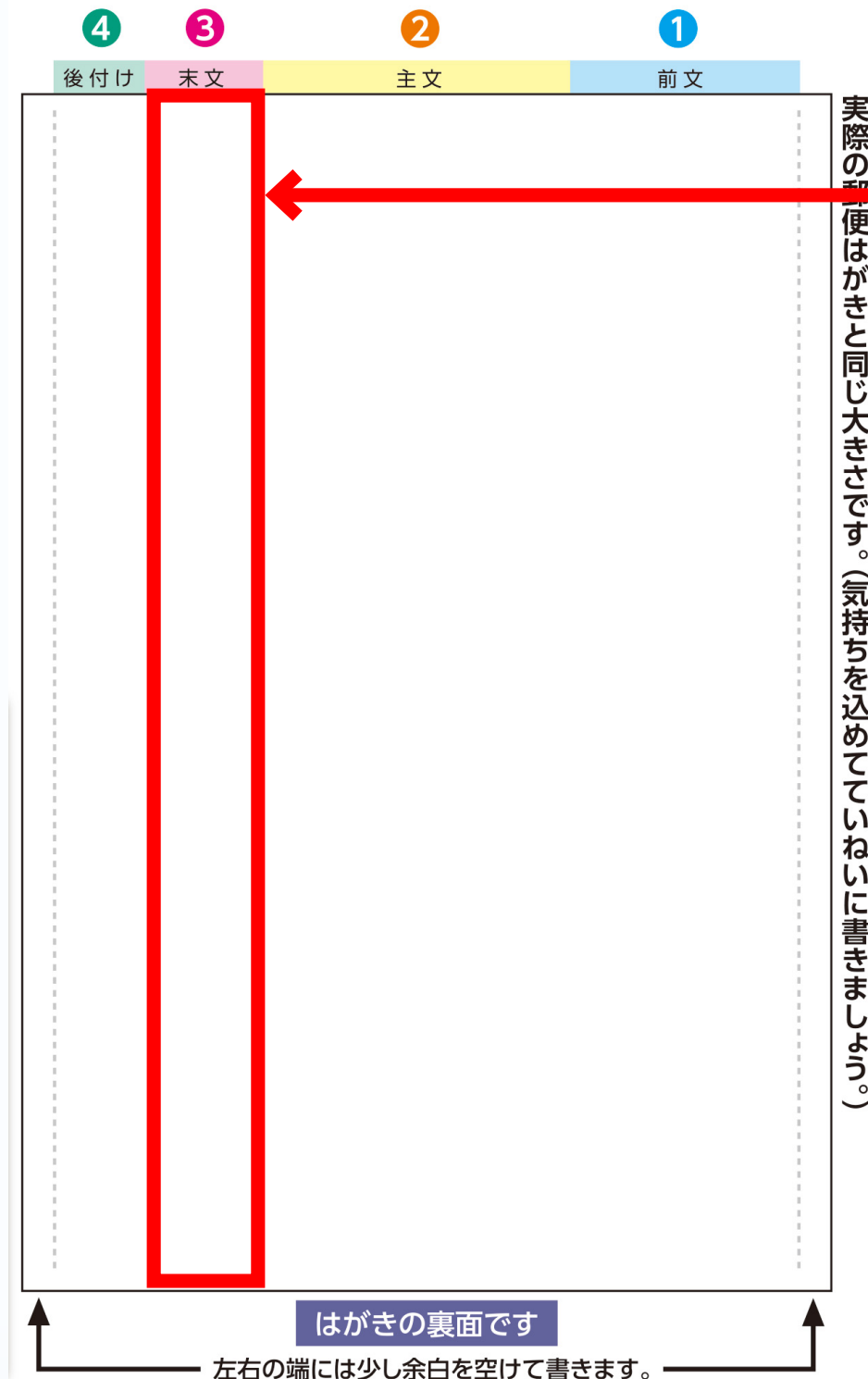


② 主文を
書きましょう。

②主文(本文)

- ★この夏の体験、近況
- ★相手に伝えたい出来事
 - ・毎日部活の陸上の練習で汗を流しています。
 - ・受験生なので、勉強にいそしむ毎日です。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ③



③ 末文を書きましょう。

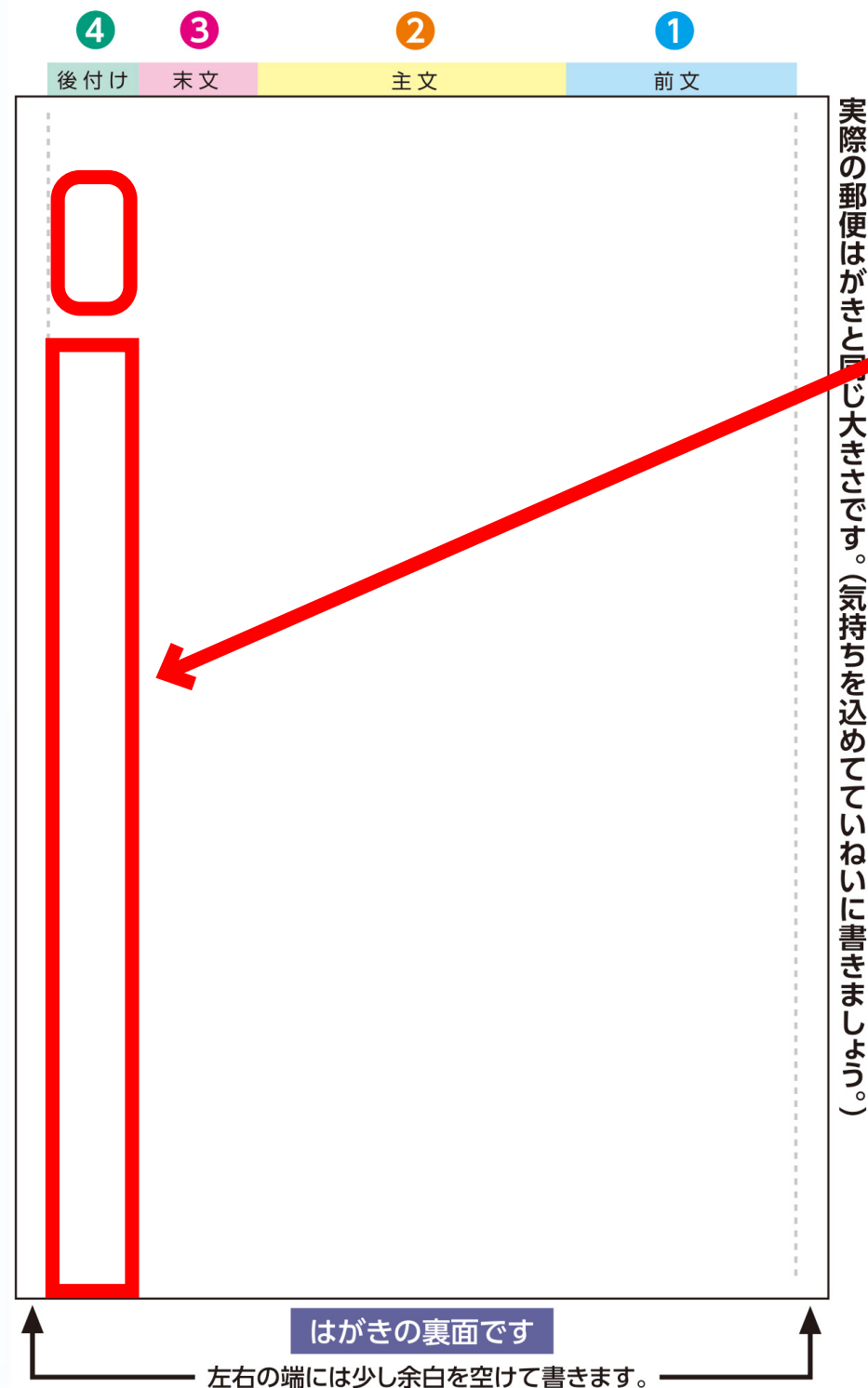
③ 末文 (結び)

★暑い季節だからこそその
相手の健康を願う言葉

★今後のこと

- ・暑い日が続きますが、ご自愛ください。
- ・お体を大切になさってください。

暑中見舞い・残暑見舞いの書き方 ④



④ 後付けを書きましょう。

④ 後付け

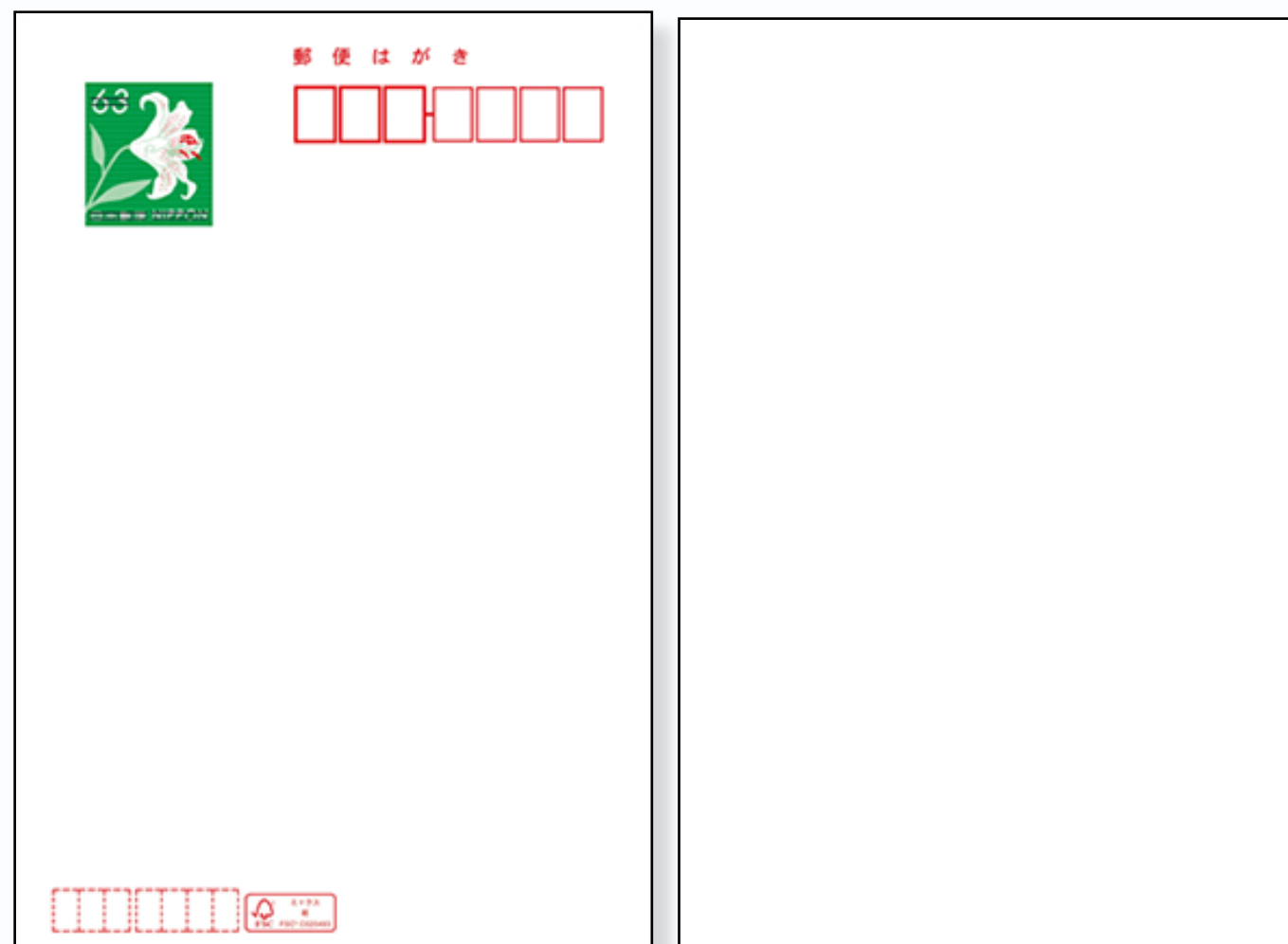
★日付

- ・暑中見舞いの時は「盛夏」
- ・残暑見舞いの時は「晩夏」「立秋」

★自分の名前

主文や末文よりも
少し下げて書く

 **テキストで暑中見舞い・残暑見舞いを書く練習が
できたら、本物の郵便はがきに書きましょう。**



表面のあて名は、テキスト P.16 のあて名の書き方を参考にして、正しくていねいに書きましょう。

① はがきのあて名の書き方(表面)

■縦書きの場合

自分 相手

郵便はがき

① 7 2 3 0 0 6 8

② 村上 翔太 様

③ 広島県三原市北町 三ー十二

④ 東京都目黒区東 四ー十二ー一

⑤ 石田 美咲

⑥ 1 5 2 0 0 1 8

① 郵便番号は、正しくていねいに書きましょう。

② 相手の名前は真ん中に大きめの字で書きます。
正しくていねいに書きましょう。

③ 相手の住所は名前より小さめの字でバランスを見ながら書きます。縦書きの場合、右端から鉛筆1本分空けて書きます。

④ 自分の住所は、小さめの字で書きます。

⑤ 自分の名前は、小さめの字で書きます。

⑥ 自分の郵便番号を書きます。

■連名の場合

連名の場合は苗字が同じなら下の名前だけ並べて書き、それぞれに「様」をつけましょう。

村上 翔太 様
陽菜 様

■横書きの場合

相手 自分

郵便はがき

① 7 2 3 0 0 6 8

③ 広島県三原市北町 3 - 12

② 村上 翔太 様

④ 東京都目黒区東 4 - 12 - 1

⑤ 石田 美咲

⑥ 1 5 2 0 0 1 8

暑中見舞い・残暑見舞い（表面・裏面）が書けたら、ポストに入れましょう。

